

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
80	明星大学	専門応用研究Ⅱ	毛利 聡子 人文学部 教授	2	後期	金	15	12:55～14:25	明星大学 日野キャンパス	若干名

#### 【到達目標】

国際社会の直面する問題について関心が広まり、理解が深まる(知識・理解)  
 ディスカッション、プレゼンテーションの技能が身に付く(技能)  
 世界をよりよくしていくため、望ましい方向へ変えていくための第一歩をとることができる(態度)

#### 【授業の概要】

21世紀は持続可能性がキーワードとなっています。本講義では、地球環境問題と経済発展をめぐる持続可能性をテーマに世界と日本の現状を考察します。とくに、私たちの日常が世界の問題とどのように結びついているのかを見ていきます。そうすることによって、何気なく過ごしている状況や仕組みが、さまざまな問題を作り出していることが分かってきます。まずは知ることから始めましょう。世界をよりよくしていくため、望ましい方向へ、持続可能な社会に変えていくための行動の第一歩となるからです。また、2人のゲストスピーカーをお招きして、最新の情報を提供していただきます。2019年度は、パーム油問題とプラスチック問題の専門家に話をいただきました。

この授業は、アクティブラーニング型(主にディスカッション)で実施します。

#### 【授業内容】

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. イントロダクション       | 9. ゲストスピーカー(予定)  |
| 2. グローバル化と格差       | 10. 持続可能な社会をめざして |
| 3. 途上国の貧しさ・先進国の貧しさ | 11. 食料安全保障       |
| 4. 多発する紛争と資源収奪     | 12. プレゼンテーション①   |
| 5. 気候変動と私たちの暮らし    | 13. プレゼンテーション②   |
| 6. ゲストスピーカー(予定)    | 14. プレゼンテーション③   |
| 7. 企業活動と人権         | 15. まとめ          |
| 8. 先住民と環境          |                  |

#### 【成績評価方法】

授業態度(指定した文献の要約・感想の提出を含む) 40%  
 レポートの作成・提出 30%(授業で取り上げた環境問題の中から1つ選び、問題の現状・対策・課題等について考察する。3,000字～4,000字)  
 プレゼンテーション 30%(レポートの内容について、プレゼンテーションを行う。)  
 最終的な成績評価については、総合90点以上でS、80点以上でA、70点以上でB、60点以上でCとする。

#### 【教科書、参考書、教材等】

テキスト: 中村都編(2017)『新版 国際関係論へのファーストステップ』法律文化社、2,700円  
 参考図書: 環境経済・政策学会編(2018)『環境経済・政策学事典』丸善出版  
 参考図書: 瀬口亮子(2019)『「脱使い捨て」でいこう! 世界で、日本で始まっている社会のしくみづくり』彩流社

※ この授業は、9/18(金)が初回です。